

平成 22 年度

河川のモニタリング調査結果の概要

(県民参加型調査)

平成 23 年 7 月

神奈川県

1 河川のモニタリング調査

「河川のモニタリング調査」は、相模川と酒匂川の各水系 40 地点において、動植物、水質、水量等を調査する専門家調査と、公募した県民と協働で多様な指標により河川環境を調査する県民参加型調査から構成されている。これらの調査結果から、水源環境保全・再生施策の効果と影響を把握し、評価と見直しを行うことで、柔軟な施策の推進を図るとともに、施策の効果を県民にわかりやすく示すことを目的としている。

なお、本調査の目的は、マクロな視点で河川環境を把握していくことにあり、個々の河川対策の実施効果を検証するための調査については、それぞれの事業等で実施するものとする。

2 平成 22 年度実施状況

平成 22 年度は、専門家調査と県民参加型調査のうち、県民参加型調査について実施した。

3 平成 22 年度県民参加型調査

県民から参加者を募り調査を実施した。なお、調査の精度を確保するため、調査前及び調査期間中に、アドバイザー（専門家）により、調査方法、生物の同定方法についての研修及び指導を行った。

(1) 調査地点及び調査時期

相模川水系・酒匂川水系の任意の地点及び任意の時期とした。

(2) 調査項目

動植物調査は、底生動物、魚類、植物等を調査対象とした。水質調査は、国土交通省の「今後の河川水質管理の指標項目（案）」に基づく項目とした（表 1）。

【表 1：河川水質の評価項目とランク】

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル			
			透視度 (cm)	ゴミの量	水におい	川底の感触
A	顔を川の水につけやすい		100以上	川の中や水際にゴミは見あたらない。または、ゴミはあるが全く気にならない。	不快でない	不快感がない
B	川の中に入って遊びやすい		70以上	川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる。		ところどころヌルヌルしているが不快ではない
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		30以上	川の中や水際にゴミがあって不快である。	とても不快なおいを感じる	ヌルヌルして気持ちが悪い
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		30未満	川の中や水際にゴミがあってとても不快である。		

(3) 調査方法

動植物調査は、環境科学センターが作成した調査マニュアル（平成 19 年度作成）とし、水質調査は、国土交通省の「今後の河川水質管理の指標について（案）」とした。

(4) 評価方法

動植物は、主に良好な水環境を指標する生物*を用いて評価し、水質は表 1 の A～D ランクで評価した。

- * 底生動物：ヒラタカゲロウ、カワゲラ、ヒゲナガカワトビケラ、ナミウズムシなど
- 魚類：アブラハヤ、カジカなど
- 植物：ツルヨシ、カワラハハコなど

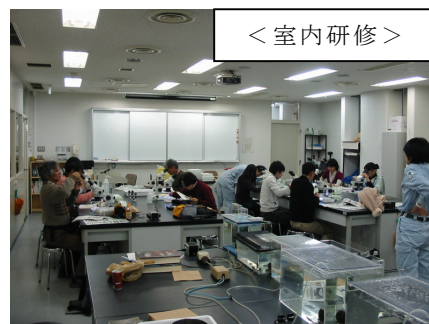
4 調査実施結果

(1) 実施状況

- ・調査日数：平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月まで延べ 20 日間
- ・調査地点数：延べ 20 地点
- ・応募人数：66 人（6 団体と個人計）

(2) 研修の実施状況

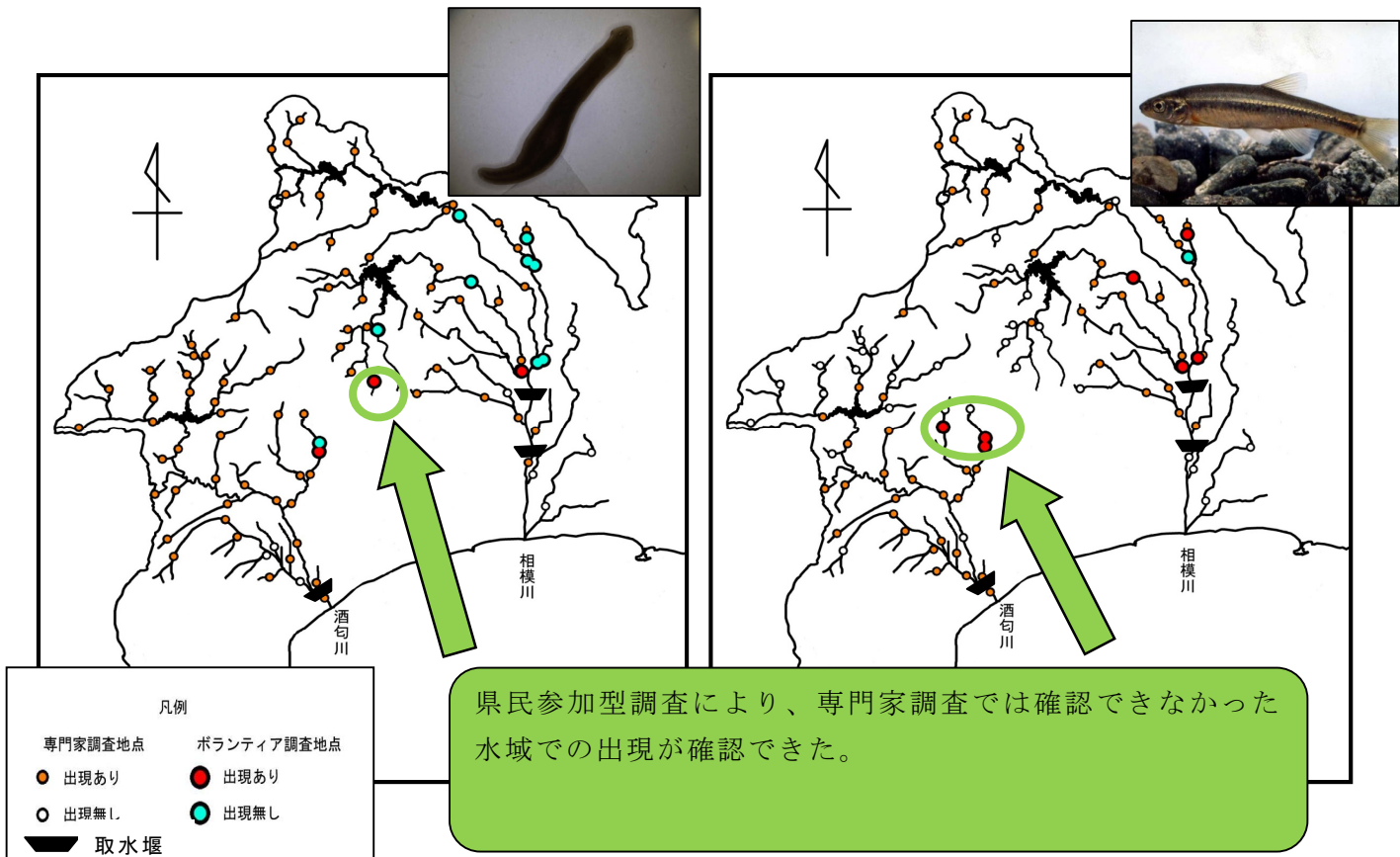
- ・研修：9 回開催、参加人数は延べ 54 人



(3) 動植物調査結果

- ・調査地点延べ 20 地点において、底生動物：20 種、魚類：9 種、植物：3 種、両生類：2 種、鳥類：1 種（※）が出現した。（※注：種が不明なものについてはその上位の分類階級の数も含めた。）
- ・調査結果の活用方法について検討したところ、その結果は次のとおりであった。
- ・平成 22 年の調査結果に専門家調査結果を加えて集計し、指標種の分布図を作成した結果（図 1、図 2）、一部の種においてより詳細な分布実態を把握することができ、県民参加型調査を補完的に活用できる方法が得られた。

県民参加型調査結果の活用事例を次に示した。



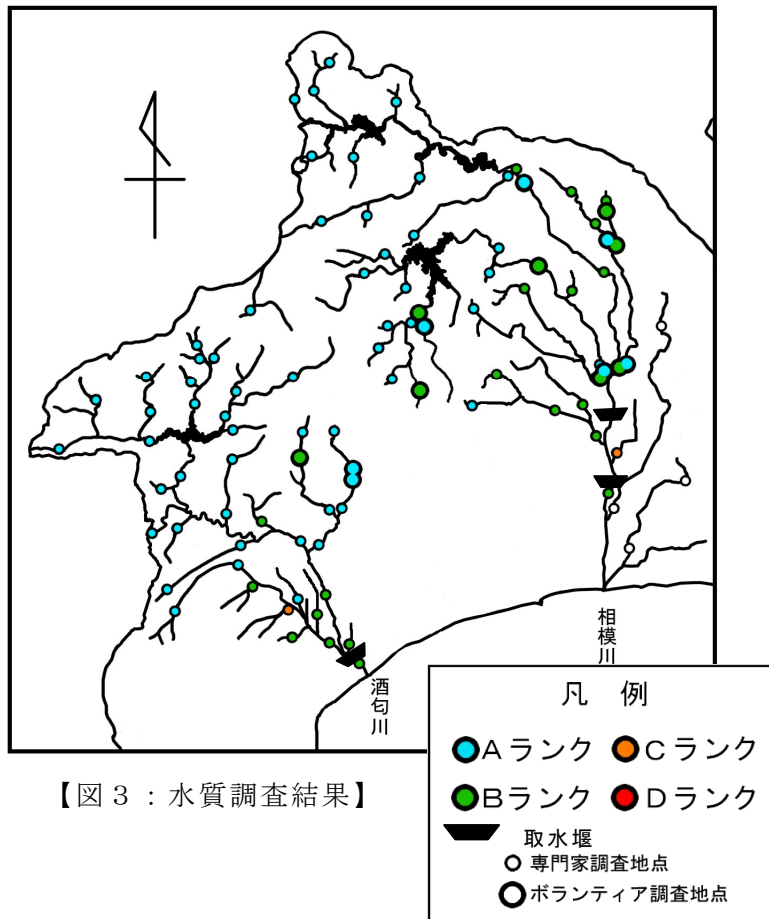
【図 1：指標種（ナミウズムシ）の出現状況】

ナミウズムシ：河川の上流の水温が低い石の裏などに生息するプラナリアの仲間、良好な水環境を指標する生きものである。

【図 2：指標種（アブラハヤ）の出現状況】

アブラハヤ：主に河川の中流から上流に生息するコイ科の魚類で、良好な水環境を指標する生きものである。

(4) 水質調査結果



【図 3：水質調査結果】

- ・ 調査地点延べ 20 地点は、Aランク又はBランクであった。
- ・ 動植物調査結果と同様、平成 22 年度県民参加型調査結果に専門家調査結果を加えて集計した結果（図 3）、ほとんどの調査実施地点が Aランク又はBランクであり、流域全体としては“顔を川の水につけやすい”、“川の中に入って遊びやすい”といった、“人が親しみやすい”水質であることがわかった。